

真に民主的な労働運動を
不断に追求し、働く者と
家族の幸せ、JR産業の持
続的発展を実現しよう！

http://www.jr-rengo.jp



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

日本鉄道労働組合連合会

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階

TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848

FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849

1部20円 (但し組合費に含む)

●発行者 荻山市朗 ●編集者 今井孝治

facebook

JR連合

twitter

JR連合

北海道の地で加入続く！

J R 北労組

8月1日、今年4月にJ R北海道に入社したばかりの22歳の青年が、自由で民主的なJ R連合・J R北労組の存在を知り、自らの意志でJ R北労組に加入した。

また、8月6日にはジェイアール北海道バスで働く仲間が、J R北労組への加入を選択した。多くの社員が北鉄労に不信・不満を感じているなか、勇気ある決断を下した。

既報の通り、7月にはJ R北労組苗穂工場支部で2人の青年の組織加入があった。いずれも北労組の世話役活動によって加入を決断したものであり、加入された皆さんを心より歓迎する。

J R 連合の真に民主的な労働運動を通じて
J R 産業の持続的な発展を遂げるべく
J R 連合への「総結集」を果たそう

第26回賃金実態調査を実施します

J R 連合は、「中期労働政策ビジョン(2019～2023)」で設定した賃金目標や世間水準等との比較・検証を行い、2020春季生活闘争方針の策定をはじめとした労働政策議論に反映すべく、第26回賃金実態調査を実施します

基本賃金の向上ならびに諸制度改善を図るべく、全組合員の協力をお願いします。

対象：全組合員（出向以外の休職者、および契約・パート社員、賃金がバス会社基準で支払われている出向者・プロパー社員組合員は含みません。J R西労組・J R九州労組は別途）

9月支給分の給料明細にて実施

バス関係労働者は、10月に調査を予定します。
各単組・組合員の皆様のご協力をお願いします。

8月5日に開催。第28回定期大会で承認された「中期労働政策ビジョン(2019～2023)」で、J R産業を取り巻く環境の激変を念頭に置きつつ、すべてのJ R関係労働者のあるべき働き方を提示したことから、5年後の到達点を見据え、毎年、毎年の春季生活闘争をはじめとした労働条件の向上にむけた取り組みをどう位置付けていくか、各単組と



第1回労働政策委員会【8月5日】



第1回男女平等参画推進委員会【8月8日】

8月7日に開催。冒頭、丁寧に意思合わせを行った。また、9月に実施する「第26回賃金実態調査」の具体的な取り組み方法や留意点について共有し、2020春季生活闘争方針の策定などにもどのように活用していくかも合わせて意見交換をした。

最近発生した重大事故・重大災害の発生状況について共有を行った。そして、各単組で実施している事故防止・労働安全の取り組みについて意見交換を行い、水平展開を図った。

主な議題としては、「第11回安全シンポジウム」について、J Rグループの多岐に亘る業種・業態への広がりを意識すれば、安全で信頼され、利用される続ける

2019年度の活動をスタート 総結集にむけた取り組みを確認

J R 連合は、年度初の各機関会議をJ R連合会議室にて開催し、本格的な活動を開始した。専従役員が全員J R採用となった新体制で、民主化闘争を含めたJ R連合への「総結集」をめざしていく。すなわち、J Rグループで働く労働者の代表として、交通運輸産業の中核的産別として、社会や地域の創生の担い手として、J R経営陣や社会からの信任を得て、新たな時代を主体的に切り拓いていく。その想いを各機関会議で確認した。

最近発生した重大事故・重大災害の発生状況について共有を行った。そして、各単組で実施している事故防止・労働安全の取り組みについて意見交換を行い、水平展開を図った。

〈男女平等参画推進委員会〉

8月8日に開催。世界においてはILOの「仕事の世界における暴力とハラスメント」に関する条約および勧告が採択され、国内においても女性活躍のための法整備や重点方針が示されるなか、J R連合第3次男女平等参画行動計画の達成にむけた取り組みや、女性活躍推進にむけた取り組みについて協議を行った。

〈組織戦略会議〉

8月22日に開催。北労組で続く組織拡大や貨物鉄産労における組織拡大などの情勢の確認や、各単組から

の経過報告の後、今後の組織強化・拡大にむけた取り組みについて協議を行った。民主化闘争完遂にむけた取り組みとともに、J R連合への「総結集」にむけた情報発信や関係団体への働きかけなど、幅広く取り組む



2019年度教育・広報担当者会議【8月26日】

性委員会役員を対象とした研修会の内容について協議をした。また、ホームヘルプやSNSを活用した情報発信方法について、

連合2019平和行動 戦争の実相を語り継ぎ 恒久平和の実現めざす

8月5日から6日にかけて、「連合2019平和行動in広島」、同8日から9日にかけて「連合2019平和行動in長崎」が実施され、全国の連合に集う仲間とともに、J R連合および加盟各単組から参加し

ヒロシマ

5日は、連合主催の「被爆74年連合2019平和ヒロシマ集会」およびピースウォークが開催され、J R連合から中山耕介組織部長をはじめ、J R北労組・J R四国労組・J R西労組の



(上)広島原爆ドーム前に (下)ナガサキ集会所会場前にて

平和の尊さをあらためて確かめ合った。

冒頭主催者を代表して神津里季生連合会長が挨拶に立ち、恒久平和を求めつつも、核兵器を巡る世界情勢などに触れ、「平和から遠ざかっていると感じる」と憂えた。来賓挨拶の後、ナガサキ・ユース代表団や高校生平和大使からのメッセージ発表などが行われ、平和メッセージが採択された。さらに集会後は「2020年核兵器不拡散条約(NPT)再検討会議に向けたシンポジウム」が行われた。翌9日は「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列し、午後からは連合主催のピースウォークに参加し、

〈第11回 安全シンポジウム〉

J R 連合は安全確立を運動の最重要課題と位置付け、「安全指針」や「重大災害防止の行動指針」の具現化にむけ、すべてのJ R職場で働く仲間の安全を追求すべく、下記の要領でJ R連合「第11回安全シンポジウム」を開催する。

- | | |
|--------|--|
| (1)日 時 | 2019年10月16日(水) 13時～17時 |
| (2)場 所 | レクサムホール小ホール(香川県) |
| (3)テーマ | 「すべてのJR職場の安全確立にむけて」～J Rで働く仲間の労働災害を撲滅すべく取り組みを推進しよう！～ |
| (4)内 容 | 基調講演
取組報告【エリア連合における安全ディスカッションについて】
パネルディスカッション
J R連合からの提起 |

全員で世界平和への祈りを込めて黙祷した。

ナガサキ

8日、連合は「被爆74年連合2019平和行動ナガサキ集会」を開催し、J R連合から中村鉄平交通政策部長とともに、J R東海ユニオン・J R九州労組の組合員ら35人が参加した。



8月2日、交通労協は国土交通省・厚生労働省に対し、2020年度政府予算概算要求の要請を行った。交通労協からは、住野敏彦議長や荻山市朗JR連合会長ほか6人と、政策推進議員懇談会会長の近藤昭一衆議院議員も同席した。

国土交通省においては、近藤衆議院議員より「人口減少や地域間格差など課題は山積している。交通運輸産業で働く人々の意見を十分に反映し、協力して予算確保や交通行政を進めてい

関東地方協議会第28回定期委員会 国民・利用者の 期待に応え続けられる JR産業の創出めざす



挨拶で積極果敢な運動展開を促す杉本議長

JR連合関東地方協議会は、8月28日、田町交通ビル会議室において、第28回定期委員会を開催した。冒頭、挨拶に立った杉本修哉議長は、「JR連合は、JR4単組とグループ3単組が結集し、安全の確立を最優先課題と位置付け、民主化完遂にむけた取り組み、産業政策課題の実現、各種労働条件・制度等のブラッシュアップなど力強く運動を推進してきた。引き続き、責任と自覚を持ち、組織を挙げて積極果敢に運動を展開していく」と力強く訴えた。

委員会は、JR連合から中山組織部長、連合東京から内村昌司副事務局長、関東交通労協から溝上泰史副議長が出席し、それぞれ激励と連帯の挨拶を行った。質疑・答弁を経て、すべての議案が満場一致で承認された。

最後に、山本新議長が団結がんばろうで、諸課題の解決を確立した。

本康平氏（JR東海ユニオン）を選出し、新たな体制を確立した。

事務局長 酒向 敦之（JR東海ユニオン）

「JR東労組役員が個人訴訟を行ったところ『真実の声』の管理者（発信者）は、中央執行部員の指定を受けた東京地方本部に派遣され、特別執行委員として企画部次長に就いているH君（同通信では実名）であること

が判明した」と報じた。また、JR東労組が発行した「緑の風 F A X 版No.12（8月22日付）」によると、JR東労組中央本部の山口委員長が「人身攻撃を受けた」として個人訴訟を起こしていたところ、管理者が特定された模様。このH氏は、前参議院議員で現在JR総連副委員長の田城氏の国会秘書だった人物である。

このようにJR総連の最大の中核単組であるJR東労組内では、昨年来の組合員大量脱退以降、現役だけでなくOBまで巻き込んだ組合員不在の内部対立が繰り返り広げられており、到底「一枚岩」と言えるような状態ではないのが実態のようである。

そのような中、JR総連の直加盟だったソフトバンク労組（組合員数4千500人・組織率25%）がJR総連から脱退し、情報労連に加盟したことを「労働新聞第3222号（8月26日付）」が報じている。ソフトバンク労組は、前身となった日本テレコム労組の流れを汲むことから、JR総連

に加盟してきた経緯がある。同紙によると、『産別移行の背景として、情報通信という産業全体を考えて行動していく必要性がある』といったこと等が脱退の理由としてあげられている。しかし、昨年12月にソフトバンクが株式上場を果たした

ことから、労使ともに革マル派が浸透していると指摘されているJR総連から脱退するタイミングを見計らっていたという声も漏れ伝わっている。JR総連は、財政面を考慮すると、是が非でも脱退を引き止めたかったのが本音であろう。しかし

ながら、JR東労組における大量脱退という組織を揺るがす大問題が発生し窮地に追い込まれる中であって、組織のダメージを最小限に抑え、円満的な解決を装い「卒業」という言葉で脱退を認めたものと思われる。

決むに、意思を固めた。新三役

議長 山本 康平（JR東海ユニオン）

副議長 鈴木 哲夫（貨物鉄道労）

副議長 鷲山 祐希（新幹線メンテナンス東海労組）

副議長 渡邊 有造（JR東海ユニオン）

副議長 齋藤 弘昭（JREユニオン）

事務局長 酒向 敦之（JR東海ユニオン）

民主化闘争 58 ソフトバンク労組がJR総連から脱退 「真実の声」は田城氏元秘書の仕業?!

JR総連が「組織破壊以外のなにものでもない」と指摘し、JR総連やJR東労組の現執行部の批判を繰り返してきた「真実の声」なるホームページは、JR東労組東京本部の一部OBで構成された「JR東労組を憂う会」が管理していると思われていた。

そうした中、JR総連は「JR総連通信No.1324（8月23日付）」を発行し、本部は、8月22日の第3回中央執行委員会において、H氏が、組織破壊と確認した「真実の声」に加担していたことは、組織破壊以外のなにものでもないこと。また、H氏はJR東労組に雇用されていたが、JR

東労組の名譽を著しく汚し、社会的信用を失墜させ、機関役員として団結または統制を乱したとして、H氏の中央執行部員解任を満場一致で確認した。さらに、東京地方本部に地本特別執行委員の指定解除を指令することを決定し情報紙で報じた。

このようにJR総連の最大の中核単組であるJR東労組内では、昨年来の組合員大量脱退以降、現役だけでなくOBまで巻き込んだ組合員不在の内部対立が繰り返り広げられており、到底「一枚岩」と言えるような状態ではないのが実態のようである。

そのような中、JR総連の直加盟だったソフトバンク労組（組合員数4千500人・組織率25%）がJR総連から脱退し、情報労連に加盟したことを「労働新聞第3222号（8月26日付）」が報じている。ソフトバンク労組は、前身となった日本テレコム労組の流れを汲むことから、JR総連

JR四国労組本部執行委員の武智です。今年の7月8・9日に開催された、第38回定期大会で執行委員に再選され、専従指定を受けました。それまで11年間携わってきた、愛媛支部の書記長での経験を活しながら、気持ちを新たに頑張っています。

私は1998年JR四国に入社し、松山運転所の車両検修に配属となつて以来、20年にわたり電車・気

動車の車両検修業務に携わってきました。入社当時、気動車の大きなエンジンを中心に右往左往したのが懐かしい思い出です。車両検修の仕事は、「縁の下力持ち」で表舞台に出ることはありませんが、お客様が安心してご乗車できるよう、安全第一に日々仕事に励んでまいりました。

一方、組合活動では、愛媛支部の書記長を長年経験してきましたが、私が大事にしてきたことは、組合員

への対応などしっかりと行い、ご要望を踏まえ担当部

みんなで暮らしをガード
交運共済 (JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

家族の幸せを災害から守る
火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/入院共済